
マンガ道

新双

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マンガ道

【Nコード】

N0797Q

【作者名】

新双

【あらすじ】

僕が、幼い頃に父（康徳）と母（智子）は離婚した。

離婚した理由は、父は、一度大人気が出る漫画を書いたが、一発屋で終わり。その後、新作を作ろうと漫画を書くことに励んでいたが全く売れず家系的にもついに苦しい状態になったからだった。

僕（翼）は、母親に引き取られ、母と自分だけの生活が始まった。

母は、毎日遅くまで仕事をしてるので、僕は、学校に遅くまで預かってもらっていた。

母が学校に向かいに来るまで、いつもひたすら絵を書いていた。

絵を書いたり、漫画を読むのは、好きだったが・・・
離婚した理由が、漫画だったので母の前では漫画を読んだりしな
った。

友達の家に行つてこっさり読んだりしていた。
漫画を買うほどの余裕は、うちにはなかった。だから、自分で作る
うと思つた。

過去と現実

僕は、1993年7月7日に生まれた。

僕が、幼い頃に父（康徳）と母（智子）は離婚した。

離婚した理由は、父は、一度大人気が出る漫画を書いたが、一発屋で終わり。その後、新作を作ろうと漫画を書くことに励んでいたが全く売れず家系的にもついに苦しい状態になったからだだった。

僕（翼）は、母親に引き取られ、母と自分だけの生活が始まった。

母は、毎日遅くまで仕事をしてくるので、僕は、学校に遅くまで預かってもらっていた。

母が学校に向かいに来るまで、いつもひたすら絵を書いていた。

絵を書いたり、漫画を読むのは、好きだったが・・・

離婚した理由が、漫画だったので母の前では漫画を読んだりしなかった。

友達の家に行ってこっそり読んだりしていた。

漫画を買うほどの余裕は、うちにはなかった。だから、自分で作るうと思った。

父の血が流れているだけあって、小さいころから上手いと言われていた。

始めて、5日がたち最初だけあって絵も汚いし、話しも面白くなかった。

しかし、自分なりに満足していた。次の日、担任の先生（大橋）に自慢気に見した。

先生は、「とつても上手」と褒めてくれた。本当に嬉しかった。

それから、漫画を書くたびに担任の先生（大橋）に見していた。

漫画を書いているうちに、絵が上手くなっていった。

しかし、内容だけは全然面白くなかった。

たくさんの本を読んだりしたが、面白い物語は全く頭に浮かばなかった。

そんなことをしているうちに、年が変わっていった。

僕が、小学校6年になる時、母は、お祖母ちゃんの家に行こうと行ってきた。

僕は、「どれぐらいお祖母ちゃんの家にいるの」と聞くと。

母は、「翼が大きくなるまで」と返した。

僕は、母の頑張りを知っていた。いつも遅くまで仕事をして、その後、僕の食事を作ったり勉強で分からない所があると教えてくれた。母は、もう限界にまで来ていたのだと思った。だから、僕は笑顔で、東京に住んでいるお祖母ちゃんの
家に行くことを決めた。

過去と現実（後書き）

最後まで読んでいただき誠に感謝しています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0797q/>

マンガ道

2011年1月16日07時51分発行